

根本的な対応をしてほしい。
A元に戻るのが国と東京電力の責任であり、我々はやらせる立場にある事を忘れてはいけない。原因者である国と東電がやるべきことを市は、市民の方々の声を聞き代行していることを忘れさせない発信をしていかなければいけない。

除雪対策

Q2月の大雪、大変な思いをした。冬ばかりではなく、異常気象が増えている。大雨や全国的には竜巻等の被害もあるが、今の気象予報は、かなり正確になってきている。情報があるにもかかわらず、除雪が後手に回ったのではないか。今後の対策は。
A市民の皆様には、大変ご迷惑をおかけした。かなり雪が降るとの情報があったが、雨になるとの情報もあり、少し安閑としていたところがあつたかもしれない。30台を超える重機が除雪に出た。しかし、雪があまりにも重く、放置車両等もあり、除雪が思うように進まなかった。学校も休校せざるを得なかった。市民の皆様にお詫びを申し上げます。



▲2月15日の大雪の際の除雪

ればならない。地域の方には、除雪のためにトラックターを出していただいたり、地区の雪を運んでいただいたりした。歩道の除雪も地域の方にお世話になった。本当に感謝したい。

ターを持つている方が大勢おられる。そういう方々と契約を結ばないかと考えている。保険をどうしていくか、どの範囲をご協力いただくかなど、ある程度決めていかなければならない。9月ごろまでに、しっかりとした仕組みを作っていきたい。
今回は、市民の皆様が大変ご迷惑をおかけしたことを、お世話になったことを含めて、各町内会に、基本額3万円、戸数割を入れて上限4万円を支払わせていただいた。何年、何十年に1回ではなく、毎年発生して当たり前と思つて対応していかなければならない。

教育

Q市では保育所が何カ所あつて、待機児童は何人いるのか。郡山市や大玉村の保育施設に預けているという話も聞く。
A公立が本宮地区4、白沢地区1の計5カ所、私立が3カ所あり、合計で8カ所ある。待機児童はいない。今は、少し遠くなるなど希望の施設以外になる場合もあるかもしれないが、市内の保育所に入れる。



▲屋外あそび場完成予想図

Q市営住宅について、トイレが水洗でない。できるだけ早く入れてほしい。
A市営住宅の長寿命化を進

施設要望

Qスマイルキッズパーク屋外あそび場整備について、砂場「ありじごく」底面はどのようなになっているのか。雨水がたまってしまわないか心配である。
A砂場については水が流れ込むことは想定しており、各砂場の底には暗きよが施され、透水性に配慮し、その水は園内の水道（みずみち）に流れるよう設計している。

Q現在、まちづくりの将来像を示し、その目標を実現するための土地利用や都市施設の基本的な方針を定める本宮市都市計画マスタープランの策定を進めている。その中の土地利用の方針において、定住促進に向けた快適に暮らせるまちづくりを目指すため、住宅地、工業地、商業地の効果的な配置と集約化を図っていく。

市政その他

Q地域懇談会を行政区単位で開催してほしい。参加者も増えるのではないかと。
A開催できるとよいが、日程的に不可能と考える。地域に出向き地域の方の声を聞く出前講座「市長の話を聞いてみたい」や市長の話を聞いていただき懇談する「ふれあいトーク」などをぜひご利用いただきたい。



▲老人憩いの家

Q定住促進の会議が開催されたとのことだが、平成19年の合併以来、人口が約1,200人減少している。高齢化社会になってきて、高齢者人口が全国で25%を超えたとの報道がされている。定住化対策としての施策は子育て中心になっている。高齢者に対する施策はないのか。
A今まで子どもに対する施策が少なかつた。高齢者へは、肺炎球菌の予防接種助成やふれあいプラザの設置等を実施してきた。今のところ、高齢者向けの新たな施設を造る計画はないが、老人憩いの家の建て替えが財政健全化計画の中に組み込まれており、年次計画で実施することが決まっている。

多くの質問・意見・提案をいただきました！

【放射能対策関係】	58件
【除雪・防犯・防災】	30件
【道路・河川等整備】	42件
【その他市政について】	109件

このほかにも、多数ご意見・ご要望・ご提案をいただきました。紙面の都合上、一部のご紹介とさせていただきます。

◆問い合わせ先
秘書広報課 広報広聴係
(内線223)

施設利用

Qふれあいサロン事業でのバスの利用について、24年と25年は社会福祉協議会の補助金を利用してバスを借りたが今年度は補助金が利用できないとのことだった。市のバスを利用できるようにしてほしい。
A26年度も今までとおり補助金ができるようにした。これは震災対応事業であるため、補助事業終了後の対応については、今後検討したい。詳細については、事務局の社会福祉協議会へ問い合わせいただきたい。

地域振興

Q一人当たり約1000万円である。市は自主的財政健全化計画を基本に財政運営に努めており、国の財政状況を判断する4つの基準もクリアし、現在適正で健全な財政状況にある。本年度の主な事業である小中学校のエアコン整備事業など、国県の補助事業を積極的に活用しており、借金を必要最小限に抑えている。

Q本宮駅西側開発の完成図を示してほしい。
A東西アクセス道路や都市基盤整備についての基本方針を示した「本宮駅周辺東西アクセス整備計画書」を策定した。今後、より具体的な整備計画を検討する委員会を設置し、完成イメージ図を作成していく。その後、JRに基本設計・実施設計を委託し、平成31年度までに完成させたいと考えている。

Q都市計画の見直し、用途変更の見直しを。高木地区の一部地域は建ぺい率が40%。このままでは避難者が家を建てづらいためではないか。また、戸崎の県道周辺を商業地域にしてはどうか。



▲運行する福祉バス

財政

Q市民一人当たりの借金額はいくらか



▲暗い夜道を照らす防犯灯

Q防犯灯を設置してもらいたい。既存の防犯灯には、古くなり倒れそうな物もある。
A防犯灯の問題は、市内各地区から要望がある。毎年予算を計上して、各地区の防犯協会から候補地を挙げていただき、その中から選定し、できる範囲で設置している。地区の防犯協会長へ相談して、そこから市へ要望していただきたい。